

4月30日 復活節第3主日

開かれた目

ルカによる福音書 24章 13～35節

¹³ ちょうどこの日、二人の弟子が、エルサレムから六十スタディオン離れたエマオという村へ向かって歩きながら、¹⁴ この一切の出来事について話し合っていた。¹⁵ 話し合い論じ合っていると、イエス御自身が近づいて来て、一緒に歩き始められた。¹⁶ しかし、二人の目は遮られていて、イエスだとは分からなかった。¹⁷ イエスは、「歩きながら、やり取りしているその話は何のことですか」と言われた。二人は暗い顔をして立ち止まった。¹⁸ その一人のクレオパという人が答えた。「エルサレムに滞在しながら、この数日そこで起こったことを、あなただけはご存じなかったのですか。」¹⁹ イエスが、「どんなことですか」と言われると、二人は言った。「ナザレのイエスのことです。この方は、神と民全体の前で、行いにも言葉にも力のある預言者でした。²⁰ それなのに、わたしたちの祭司長たちや議員たちは、死刑にするため引き渡して、十字架につけてしまったのです。²¹ わたしたちは、あの方こそイスラエルを解放してくださると望みをかけていました。しかも、そのことがあってから、もう今日で三日目になります。²² ところが、仲間の婦人たちがわたしたちを驚かせました。婦人たちは朝早く墓へ行きましたが、²³ 遺体を見つげずに戻って来ました。そして、天使たちが現れ、『イエスは生きておられる』と告げたと言うのです。²⁴ 仲間の者が何人か墓へ行ってみたのですが、婦人たちが言ったとおりで、あの方は見当たりませんでした。」²⁵ そこで、イエスは言われた。「ああ、物分かりが悪く、心が鈍く預言者たちの言ったことすべてを信じられない者たち、²⁶ メシアはこういう苦しみを受けて、栄光に入るはずだったのではないか。」²⁷ そして、モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたり、御自分について書かれていることを説明された。

²⁸ 一行は目指す村に近づいたが、イエスはなおも先へ行こうとされる様子だった。²⁹ 二人が、「一緒にお泊まりください。そろそろ夕方になりますし、もう日も傾いていますから」と言って、無理に引き止めたので、イエスは共に泊まるため家に入られた。³⁰ 一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。³¹ すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。³² 二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明して下さったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。³³ そして、時を移さず出発して、エルサレムに戻ってみると、十一人とその仲間が集まって、³⁴ 本当に主は復活して、シモンに現れたと言っていた。³⁵ 二人も、道で起こったことや、パンを裂いて下さったときにイエスだと分かった次第を話した。

他の朗読：使徒 2:14, 22, 23 詩編 16:1, 2, 5, 7～11 I ペテロ 1:17～21

Lectio …読む

イエスの死から3日たちました。墓は開かれイエスの体はありません。3日目に復活するとイエスが約束していたにもかかわらず、その2人の弟子たちは希望を失った様子で、エマオに向けて旅立ちます。

イエスが彼らと一緒にになりますが、彼らはイエスに気がつきません。イエスはメシアの死と復活がどうして神の目的に欠かすことのできないものだったのか、聖書にはどのように記されているかを説明します。彼らの目が開かれるのは、イエスが彼らと一緒にパンを割いた時でした。

彼らは他の弟子たちに告げるためにエルサレムに急いで帰ります。到着すると、イエスがシモンにも現れたことが分かります。ですからルカの記述によれば、この時点で復活したキリストの証人は3人です。この3人に加えて、イエスが天に昇る前にもっと多くの人々が証人になるのです。

Meditatio …黙想する

イエスは2人の弟子たちが落胆しているときにご自身を現します。私たちはこのことから何を学ぶことができるでしょうか。

この箇所から他にどのような教訓を学ぶことができますか。

Oratio …祈る

死と復活を通してあなたの罪のために代償を払ってくださったことをイエスに感謝しましょう。あなたの側にイエスが来て、あなたにご自身をもっと現してくださるようお願いしましょう。落胆していると感じていたり、信仰に疑問を持っているあなたの知人たちのために祈りましょう。

Contemplatio …観想する

2人の弟子たちは、仲間の弟子たちを勇気づけるためにエルサレムに戻ろうと、約11キロの夜道を歩きました。福音書のよい知らせと、それを他の人とどのように分かち合うことができるかをよく考えてみましょう。